

項目	内容
名称	マンナノキ、マンナトネリコ [英]Manna、Flake Manna、Flowering Ash、Manna Ash、Manne [学名]Fraxinus ornus
概要	マンナノキは、南ヨーロッパ原産のモクセイ科の植物で、高さ8~20 m程度に生長する。マンナノキの植物汁液の乾燥物であるマンナより単離したものがD-マンニトールである。
法規・制度	<p>■ 食薬区分</p> <p>「専ら医薬品として使用される成分本質 (原材料) 」にも「医薬品的効能効果を標ぼうしない限り医薬品と判断しない成分本質 (原材料) 」にも該当しない。</p> <p>■ 食品添加物</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・天然香料基原物質リスト</li> </ul> <p>マンナノキが収載されている。</p>
成分の特性・品質	
主な成分・性質	
分析法	・樹皮中のエスクシド (クマリン-セコイリドイド) をNMRにて同定した報告がある ( <a href="https://pubmed.ncbi.nlm.nih.gov/12165333/">PMID:12165333</a> )。

有効性	
循環器・呼吸器	調べた文献の中に見当たらない。
消化系・肝臓	調べた文献の中に見当たらない。
糖尿病・内分泌	調べた文献の中に見当たらない。
生殖・泌尿器	調べた文献の中に見当たらない。
脳・神経・感覚器	調べた文献の中に見当たらない。
免疫・がん・炎症	調べた文献の中に見当たらない。
骨・筋肉	調べた文献の中に見当たらない。
発育・成長	調べた文献の中に見当たらない。
肥満	調べた文献の中に見当たらない。
その他	調べた文献の中に見当たらない。
参考文献	<p>(22) メディカルハーブ安全性ハンドブック 第2版 東京堂出版 林真一郎ら 監訳</p> <p>(29) 牧野和漢薬草大図鑑 北隆館</p> <p>(30) 「医薬品の範囲に関する基準」(別添1、別添2、一部改正について)</p> <p>(58) The Complete German Commission E Monographs</p> <p>(80) 植物レファレンス事典 日外アソシエーツ</p> <p>(91) Registry of Toxic Effects of Chemical Substances (RTECS)</p> <p>(101) PDR for Herbal Medicines Fourth Edition, Thomson</p> <p>(102) 第十八改正日本薬局方解説書 廣川書店</p> <p>(110) 天然香料基原物質リスト (公財) 日本食品化学研究振興財団  <a href="https://pubmed.ncbi.nlm.nih.gov/12165333/">(PMID:12165333) Fitoterapia. 2002 Aug;73(5):386-9.</a></p>